現地学習会

歴史から学ぶ防災2016

―命と文化遺産とを守る―

1 昭和南海地震津波の体験者に聞き取り調査する印南中学校津波研究班の生徒たち

2 旧白崎中学校校舎に保管されている民具

3 浦森勉氏が描いた昭和南海地震後に来襲した津波のなかを避難する人々（印南町本郷地区）

4 昭和南海地震直後の由良町網代・横浜・南地区（由良町教育委員会蔵）

平成29年（2017）**2月25日（土）**

印南町公民館大ホール
印南町印南2009番地の1
0738-42-1700

13時30分～15時30分　報告
15時40分～　地域防災を考えるワークショップ（希望者）

平成29年（2017）**2月26日（日）**

由良町中央公民館大研修室
由良町網代248番地の12
0738-65-2418

13時30分～15時30分　報告
15時40分～　地域防災を考えるワークショップ（希望者）

申し込み不要
入場無料

《お問い合わせ》　和歌山県立博物館　**073-436-8670**

主催　和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会，和歌山県立博物館
後援　印南町，印南町教育委員会，由良町，由良町教育委員会
協力　和歌山県教育庁文化遺産課，和歌山県立文書館，和歌山大学紀州経済史文化史研究所，姫路大学

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

このチラシは，『平成28年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業』で作成したものです。

2月25日(土) 13時30分～15時30分　印南町公民館大ホール　[報告](各20分)

1　昭和南海地震聞き取り調査から
印南町立印南中学校3年生 津波研究班　辻浦才暉
和歌山県立日高高等学校2年生　濵本尚実

2　印南浦今昔　そして，角屋甚太郎と宝永大地震
印南町文化協会 会長(語り部)　坂下緋美

3　宝永地震津波の記憶を伝える
和歌山県立博物館 主任学芸員　前田正明

4　印南浦を襲った幕末の災害
歴史資料保全ネット・わかやま 会員　砂川佳子

5　災害資料を活かした自主防災活動について
姫路大学人文学・人権教育研究所 准教授　松下正和

⁂会場の参加者との質疑応答⁂

2月26日(日) 13時30分～15時30分　由良町中央公民館大研修室　[報告](各20分)

1　由良町の地震・津波の記録と遺跡
由良町文化財保護審議会 委員長　大野　治

2　津波と船
由良町文化財保護審議会 委員　小出　潔

3　由良町の安政地震津波記録の諸本
神戸大学大学院人文学研究科 特命講師　木村修二

4　浄土真宗寺院の文化遺産　―由良町内の寺院を例に―
和歌山県教育庁文化遺産課 副主査　三本周作

5　文化遺産を未来に伝える　―由良町における町誌資料と民俗資料等の実践―
歴史資料保全ネット・わかやま 会員　浜田拓志

⁂会場の参加者との質疑応答⁂

○両日とも，報告会終了後に，希望者のみで地域防災を考えるワークショップを行います。
地図を見ながら，想定される被害地域や避難経路を確認したり，関係地域の方々に自主防災活動などを紹介していただき，近い将来起こるとされる南海地震に対する備えを皆さんと考えたいと思います。

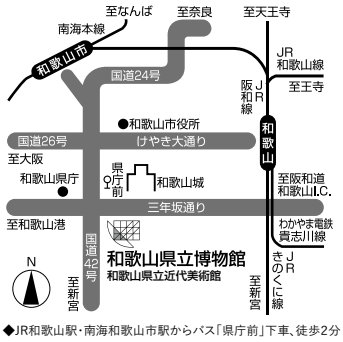
【和歌山県立博物館で行われている展覧会】

1月21日(土)～3月5日(日)
企画展「有田川中流域の仏教文化　―重要文化財・安楽寺多宝小塔修理完成記念―」

3月11日(土)～4月16日(日)
企画展「躍動する紀南武士　―安宅氏と小山氏―」

同時開催　常設展「きのくにの歩み　―人々の生活と文化―」

ご来館いただいた方で，ご希望される方には，小冊子(『先人たちが残してくれた「災害の記憶」を未来に伝えるⅢ ―命と文化遺産とを守るために―　【由良町・印南町】』)を無料でお渡しします。



◆JR和歌山駅・南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車、徒歩2分
◆和歌山ICから車で約20分　◆和歌山港から車で約7分

和歌山県立博物館
和歌山市吹上一丁目4番14号　073-436-8670